



# 早期水稲管理情報



令和5年6月15日  
J A 北 九  
北九州普及指導センター

## 1. 気象概況 (八幡アメダスデータ、平年値は2020年度までの30年間の平均値)

	平均気温	積算降水量	積算日照時間
4月中～下旬 (今年)	平年よりやや高い 16.4℃	平年より多い 133mm	ほぼ平年並み 127時間
(平年値)	15.6℃	83mm	129時間
5月 (今年)	ほぼ平年並み 19.6℃	平年より多い 251mm	ほぼ平年並み 201時間
(平年値)	19.2℃	141mm	206時間
6月上旬 (今年)	ほぼ平年並み 21.2℃	平年より多い 56mm	平年より短い 43時間
(平年値)	21.6℃	40mm	57時間

**JA北九**  
  
 ・営農情報  
 ・病害虫情報  
 ・稲作情報、稲作ごよみ  
 ・経済情報  
 などなど、ホームページなどに掲載している情報をいち早く配信いたします！

**LINE 公式アカウント**  
  
 JA北九HP

福岡県病害虫防除所HP

◎ 気温は平年並み、日照時間は平年並みからやや短く推移しています。

## 2. 生育概況

○コシヒカリ・夢つくしの調査田

調査地点	移植時期		調査日 6/9 (昨年は6/10)		
			草丈 cm (昨年比)	茎数 (昨年比)	
				mあたり 本/m <sup>2</sup>	1株あたり 本/株
中間市	今年	4/13	59 (105%)	361 (67%)	21.6
	昨年	4/10	56	536	28.9
岡垣町	今年	4/25	52 (102%)	553 (130%)	31.2
	昨年	4/24	51	426	26.9
北九州市 若松区	今年	4/23	52 (110%)	545 (105%)	40.5
	昨年	4/23	47	517	31.8

◎4月中旬移植で初期の低温による茎数の減少がみられますが、4月下旬移植では草丈が高く茎数も多く、生育旺盛となっています。

## 3. 中干し後の水管理

中干し終了後の急な長期湛水は根腐れや下位葉の枯れ上がりの発生を助長します。このため、間断かん水を適切に行いましょう。また、

幼穂形成期 (穂肥の時期) ～出穂期までが最も水を必要とします。水を切らさないように注意しましょう。

## 4. 穂肥のやいかた

○具体的な目安

葉色、茎数の状態	出穂前、幼穂の状態	肥料の目安
葉色が適当に落ち、分けつも十分ある 葉色板で3.5前後	出穂20～18日前 幼穂2～5mm	きたきゅう水稲用追肥 25～30kg/10a
葉色が濃く、過繁茂 葉色板で4.0以上 株が20～25本/株	出穂18日～15日前位 幼穂5～10mm位	きたきゅう水稲用追肥 20kg/10a
葉色が濃く、過繁茂 葉色板で4.0以上 株が25本/株以上	出穂18日～15日前位 幼穂5～10mm位	きたきゅう水稲用追肥 10～20kg/10a
油粕肥料を使用する場合	出穂25日前 幼穂1～2mm	油粕 40～50kg/10a
緩効性肥料 (基肥一発肥料) を使用した場合	基本的に穂肥を施用しない ※葉色が薄い場合は要相談	

○出穂予想

・コシヒカリの平坦地

田植え時期	穂肥の時期 (出穂20日～18日前)	出穂予想日
4月10日	6月19日～6月21日頃	7月9日頃
4月17日	6月21日～6月23日頃	7月11日頃
4月24日	6月23日～6月25日頃	7月13日頃

・夢つくしの平坦地

田植え時期	穂肥の時期 (出穂前20日～18日前)	出穂予想日
4月17日	6月25日～6月27日頃	7月15日頃
4月24日	6月27日～6月29日頃	7月17日頃
5月1日	6月29日～7月1日頃	7月19日頃

※出穂予想日は今後の気温が平年並で経過した場合の予想です。高温で推移した場合は予想日より早まります。

## 5 病害虫について

### ●いもち病

余り苗は早急に撤去しましょう！

田周りの際、葉っぱに病斑が出ていないか確認しましょう。特に、施肥量が多い田んぼや野菜後で発生しやすくなります。

### ●紋枯病

特に茎数の多いほ場で、発生しやすくなります。

### ●ウンカ類

近年トビイロウンカの飛来が5月からみられています。今年の飛来は、5月末時点で管内では認められていませんが、今後の発生には注意が必要です。

### ●カメムシ類

近年、越冬数が増え、また春先の高温傾向により発生が増えています。

カメムシは斑点米発生の原因となるので必ず防除を行ってください。

なお、カメムシは畦畔等のイネ科雑草の穂で増殖し、

イネの出穂とともに水田に侵入することから、出穂前までに畦草刈りを済ませましょう。



写真1 写真2  
葉いもちの病斑（停滞型） 葉いもちの病斑（進行型）



トビイロウンカ

## 6 防除について

### ○コシヒカリ

#### ①赤とんぼA

農薬は使用できません。

#### ②赤とんぼB

穂ぞろい期にカメムシ類の防除は可能です。

(10a 当たり)

	剤型	農薬名	使用量（希釈倍数）	備考
穂揃い期	粉剤	トレボン粉剤DL	3～4kg	収穫7日前まで
カメムシ類	液剤	トレボンEW	1000倍	収穫14日前まで 使用水量60～150ℓ

※他の病害虫が発生しているほ場については、補正防除を行う必要がありますので、JAにご相談ください。

### ○夢つくし

(10a 当たり)

	対象病害虫	剤型	農薬名	使用量（希釈倍数）	使用時期	備考
基幹防除①	ウンカ類 カメムシ類 紋枯病 いもち病	粉剤	ブラシントレバリダ 粉剤DL	4kg	出穂直前 (収穫14日前まで)	ウンカ類・いもち病・ 紋枯病には3～4 kg/10aの登録
ウンカ類	いもち病		ダブルカットバリダフロ アブル	1000倍	出穂直前 (穂揃い期まで)	使用水量60～200ℓ
カメムシ類	紋枯病	液剤	トレボンEW	1000倍	ダブルカットバリダフロアブルと混用の 場合、穂ぞろい期まで (収穫14日前まで)	使用水量60～150ℓ
いもち病	ウンカ類・カメムシ類					
	いもち病・紋枯病 ウンカ類・カメムシ類	粒剤	ゴウケツモンスター粒剤	3kg	出穂5日前までに散布 <u>(収穫45日前まで)</u>	水を溜めて散布
基幹防除②	ウンカ類 カメムシ類	粉剤	アルバリン粉剤DL	3kg	出穂期から10日後 (収穫7日前まで)	
		液剤	アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	出穂期から10日後 (収穫7日前まで)	使用水量60～150ℓ ウンカ類は3000倍の 登録
		粒剤	アルバリン粒剤	3kg	穂揃い期(収穫7日前まで)	水を溜めて散布
補正防除	いもち病	粉剤	ノンプラス粉剤DL	3～4kg	収穫7日前まで	
		液剤	ノンプラスフロアブル	1000倍	収穫7日前まで	使用水量60～150ℓ
		粒剤	コラトップジャンボP	10～13パック (500g～650g)	葉いもちは初発20日前から初 発時、穂いもちは出穂30～5日 前に散布	水を溜めて散布